

ま え が き

昭和48年度の本県教育行政、教育諸活動全般にわたってその概要を収録した「教育年報」を刊行いたします。

振り返ってみますと、昨年度は、長期総合教育計画第二期実施計画の最終年度であり、教育委員会発足25周年の年、更には本県教育の新たな百年へのスタートの年という記念すべき年でありました。

しかしながら一方では、「人材確保法案」等に反対しての教育公務員のストライキや給与改善・スト処分撤回の要請行動、また、年度後半の石油問題に端を發した物価問題等、社会的・経済的に厳しい年でありました。

本県教育委員会では、これらの諸情勢に適切に対処しながら、「豊かな人間形成をめざす生がい教育」の実現のため、「特殊教育の拡充」・「教職員研修の充実」など27項目の重点施策を設定し、その達成のために努力してまいりました。

その結果、長期総合教育計画第三期実施計画の策定、公立文教施設の整備、教職員の短期海外派遣、心身障害児判別就学指導会議の設置、県立須賀川養護学校の開校、社会教育指導員の増員、文化財研修バスの運行、県営郡山体育館の完成、県総合運動公園の用地取得、教職員人間ドックの大幅定員増など、もろもろの実績をあげることができました。

本誌はこうした教育行政の成果を記録した、将来に残る公的な資料であります。

本書が、過去一年間の反省資料となり、更に今後の本県教育の発展のために活用されることを希望いたします。

昭和49年 9月 1日

福島県教育委員会教育長 三本杉 國 雄